



第7次福島県総合教育計画
県北教育事務所「指導の重点」
福島市教育委員会基本方針

令和5年度 佐倉小学校経営・運営ビジョン

960-2155 福島市上名倉字大光内1
☎ 024-593-1003 Fax 024-593-0434
学校番号 27

学校経営の基本方針 全ては子どもたちのために

教育目標
心ゆたかで、たくましく、かしこい子ども

- 心ゆたかな子ども (ゆたかさ)
- 明るく健康な子ども (たくましさ)
- 進んで学ぶ子ども (かしこさ)



- 本校の目指す学校像
～ 思いやりあふれる「みんなが笑顔」の学校 ～
- ・児童が、生き生きと安心して過ごせる楽しい学校
 - ・教職員が、夢と情熱をもって活動できる学校
 - ・保護者や地域が、児童の成長の姿から喜びを感じることができる学校

重点事項 (目指す姿)

【豊かな心の育成 (ゆたかさ)】

◎体験学習や勤労生産的な学習、道徳等を通して思いやりの心や郷土を愛する心を育てます。

〈 ゆ た か プ ロ ジ ェ ク ト 〉

【健やかな体の育成 (たくましさ)】

◎健康な体づくりに励み、命を大切にする態度を育てます。

【確かな学力の育成 (かしこさ)】

◎学力の定着と向上を目指し、授業の一層の充実を図ります。

本年度、特に重点とする実践事項 ～新型コロナウイルス感染症予防を徹底して～

1 基本的な生活習慣の重点化指導

- ・元気なあいさつ、返事、正しい言葉づかい、廊下の正しい歩行の継続的な指導

2 心に響く道徳教育の充実

- ・自己肯定感を育む道徳科の授業(称賛する場の設定)
- ・「考える授業」「議論する授業」の実現
- ・授業参観における道徳科の授業公開

1 健康安全に支えられた教育活動の展開

- ・週1回「生活チェック」の実施
- ・給食指導(食育：西部学校給食センターとの連携)を通じた望ましい食習慣の育成
- ・「さくらしょうのやくそく」の習慣化と感染症予防の徹底

2 めあての達成を重視した体力づくり

- ・運動身体づくりプログラムの実施
- ・実態に合わせた個人目標の設定
- ・学習カードや自分手帳の活用
- ・週2回5分間の業間運動の実施

1 「わかる授業」の実践

- ・「授業スタンダード」の活用・指導の充実
- ・各種調査による実態把握と個に応じた指導の充実
- ・読解力(リーディング・スキル)・表現力の向上
- ・感染症予防授業スタイルの工夫
- ・タブレット端末を有効活用した学習活動

2 学習サイクルの確立

- ・ステップアップタイムの充実
- ・学年末漢字・計算テストの実施
- ・家庭学習の習慣化
- ・読書活動の推進

達成基準

- 学校評価で、進んであいさつすることのできる児童昨年度以上を目指します。
- Q-Uテスト、学校生活振り返りカードなどで、昨年度以上を目指します。

- 学校評価で、昨年度以上を目指します。
- 新体力テストの結果で昨年度以上を目指します。

- 活用力育成シート目標正答率 80%
- ステップアップタイム 目標達成率 90%
- 学期末漢字・計算テスト 目標達成率 90%
- 年間読書冊数 低学年80冊 中学年60冊 高学年40冊 を目指します。

地域の方々の協力

保護者との共通理解と協働

関係機関・近隣校園との連携

- 教師と保護者、地域が協力して児童の良さや可能性を引き出し、伸ばしていきます。
 - ・学校、学年、保健だより等を発行するとともに、ホームページのブログを随時更新して、「佐倉小の今」を伝えます。
 - ・学校評価を実施し、公表します。
 - ・地域と連携した人材の活用を通して、地域に根ざした教育活動を実践します。
- 保護者との連携を密にして、学校と家庭が一体となって教育を推進します。
- 西信中学校区幼・保・小・中連携推進事業を推進します。
 - ・西信中学校区内の小中学校及び幼稚園等との交流を深め、中一ギャップ・小一プロブレムの解消に努めます。